777

治安官 朱音 と

あっち系のビデオ

presented by
OkitaEllen

R18
for adult only

朝からすみません
アキラくん居ますか？

ガチャ

朱鳶さん
いらっしゃい

今日は例のビデオテープの件かい？

アキラくん
おはようございます

押収したビデオテープなのですが
型番が古くて治安局の物では
再生できないのです

ですからアキラくんのところの設備を
お借りして内容を確かめてられたらと思いまして。

とりあえずあがって

かわっ

朱鳶さんの私服初めて見たよ
可愛いね

かわいい…

職務中に長時間のビデオ視聴は
気が引けたので、今日は貯まった
休暇を消化しようと思いまして！

休暇の意味分かってる？

さあ、入って
お邪魔します…
女性物の香水の香りがしますね
まだ新しい…
さっきまで誰か居たような…
これがアキラくんの部屋…
結構綺麗ですね…
ん？この香り…？
リンかな？
兄妹だからね…
よく部屋を出入りするんだよ
取り調べ!?
ビデオ貸してくれるかな
はい、お願いします
でもリンちゃんは
香水なんて…
それに香水の他にも
変な匂いが…
ん？
このビデオテープ
ラベルが…

そうなんです
この古いビデオテープ

うーん…

押収した時には
どれもラベルが
剥がされていまして…

ビデオテープのラベルは
そう簡単に剥がれるもの
じゃない。

わざと剥がされた
ということなら…

バキッ

あっち系のビデオだな。

あっち系というのは…
どっち系ですか？

え…と

まあ…あっち系…としか。

なんとも…
奥歯に何か挟まってる
ような言い方ですね
業務上、なにか守秘義務に
抵触することですか？

まあ…実際に見れば
分かるだろう。
一応、ささやかな
忠告はしておいたからね

あぁ♡
おぉ♡
あぁ♡
おぉ♡
あぁ♡
おぉ♡
イグッ♡

ブリーン

いいい今のは、いったい何なんです!?

普通にセ〇クスだね しかもかなりハードめの

フフッ

ちょっアキラくん!? 普通に言わないでください！

ひっひっひとまずビデオの内容は 把握しました…

しましたけど…！

それで…… 残りのテープはどうする？

見るかい？

…仕事ですから！

休暇は!?

残りのビデオを全て見終わった…

何だか、とんでもないアチーブメントを達成してしまった気がする…

とりあえず感想でも語り合う？

…結構です

あの…アキラくんは…平気なんですか…？

平気じゃないって言ったら…

どうする？

どう…したいですか…？

あはは…なんて…

私…こうゆうの苦手で…遅れてる自覚もあるんですが…

してみる？

え……

だって朱鳶さん…

濡れてるよね

アキラくん
大人をからかわないでく…

ぎゅう〜

朱鳶さん

クギィ

!!

大丈夫だよ…

ぎゅう〜

はぁ

大丈夫…

はぁ

アキラくん…私…
わたし……

来て…

合意ということでいいのかな？

ぎゅっ

…はい

ペロペロ

アキラくん…積極的…

くちゅ♡ぐちゅ♡

すごい…舌入れてくる…

アキラくん…キス上手……

はあ

はあ

もしかして…初めてじゃないの…!?

今日…このブラか…もっと高いの買っておけば…

それぞれ

気持ちいい…

ぬちゅ♡ぬるっ♡クチュ♡

はあ♡はあ♡

クチュ♡クチュ♡

スル……

なんかアキラくん…手慣れてる…

それぞれ

ぱちっ

朱鳶さん…綺麗だよ…

うう……
凄い見てる…

身体は引き締まってるのに
胸とお尻が大きくて……
綺麗だね…さらに勃起してきたよ

アキラくん…
あまり…えっちな目で
見ないでください…

別に構わないだろう
これからえっちな事
するんだから…

えっちな事…

大きいのは分かってたけど
着痩せするタイプなんだね

乳首も
恥ずかしがり屋だね

ドローー!

あっアキラくん!?

ビクッ
てて…
あ～♡
はぁ♡
あっ♡
はぁ♡
チュッ
チュー♡
まさか…あの朱鳶さんのおっぱいを
好き勝手できる日が来るなんて…！
ばあ
アキラくん…！
吸わないでっ…
はあ
私…えっちな事
してるんだ…！
ムニュ♡
ピクッ
乳首が勃起してきたな…
レロォ
あとは下か…
ムニッ
ひゃあっ！
んっ♡
緊張しているのかい？
我慢しないでいいよ
ビクン

あの…慣れたいので…
私がリードしてもいいですか？

構わないよ

コレが…私の中に……

硬くて…熱い……
ぎゅ♡

シコ
シコ
シコ
シコ

私の中に入りたがってるんだ…

でも…コレが私の中を
犯すと考えると……

シコ シコ
シコ
シコ

怖い…！

だけど……
歳上なんだから
頑張らないと…！

ムニュ
シコ
シコ

少し恥ずかしいですが
胸なら…！

どうですか？
アキラくん…！

タプッ
タプッ
タプッ

あとは――

口しか――

気持ちいいですか？

一生懸命にやってくれるのは伝わってくるけど…

ムニュ

ムニュ

少しくすぐったいかな

そうですか…

ごめんなさいね…へたっぴで……

朱鳶さん…そんなに無理しなくても…

情けない…アキラくんに気をつかわれて…

私は――

じゅるるー

ジュコ

朱鳶さん…！

ジュコッ

ジュ

アキラくんに喜んでもらいたい！

正直…見るのも嫌…でもアキラくんの為なら！

ゴロオー

ビクッ

ジュコッ

ジュコッ

私は負けない！

ブッ

このまま根元まで…！
オエッ
ヌブブブブー！
朱鳶さん!? 大丈夫!?
ヌロロロ
んぐぐ
ボボボボボボボボ
吸いつきながら先端まで！
性液を押し上げるように
睾丸を優しく刺激して……
興奮度を上げる…！
モニュッ
モッ
モニュ
この動作をアキラくんの
反応を見ながら連続で！
グボボボボボボボボ
ボボ
グボボボボボボボボ
ムギュッ
朱鳶さん！
もう…！

ごめん！朱鳶さんっ！

ビュルルー

ゴボッ

ゴボ

オェッ

フー！

フー！

すまない…気持ち良すぎて…
無理しないで全部出していいよ

ブボッ

ごめんなさい…
問題…ありません…

はあ

はあ

はあ

はあ

大丈夫かい？
朱鳶さん…？

朱鳶さん…脱いで…

これで……いいですか…？

下着が汚れてしまうよわかるよね…？

心の…準備がまだ…

まっ……て…

僕はもう待てない…脱がすね

こっちの準備は出来てそうだね

朱鳶さん…!?

ごめんさない…気丈に振る舞ってはいたんですけど……

そんなに嫌だったかい…?

やっぱり…行為を行うとなると…

怖くて…

怖いなら目閉じてていいよ

大丈夫だよ優しくするから…

ギチッ

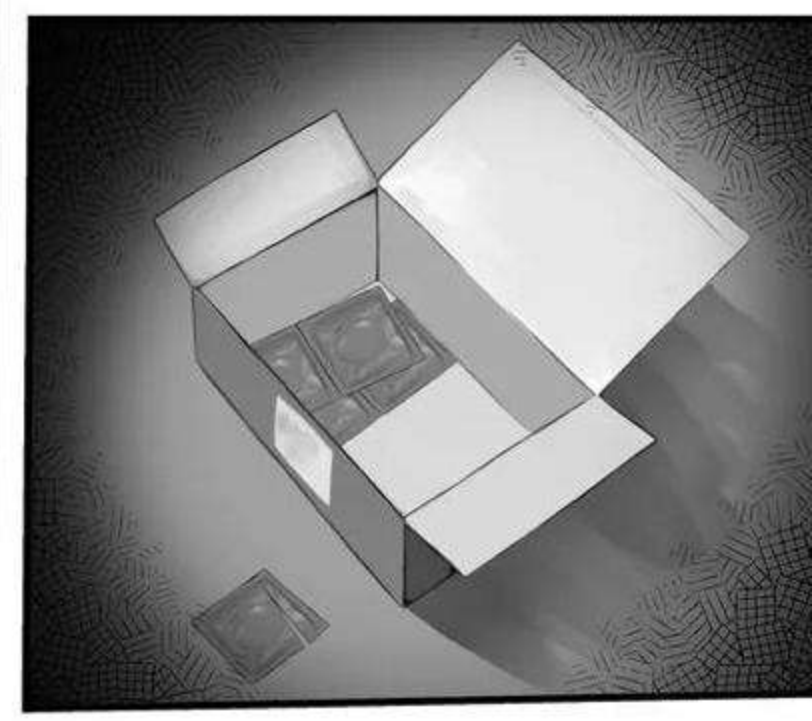
ギチッ

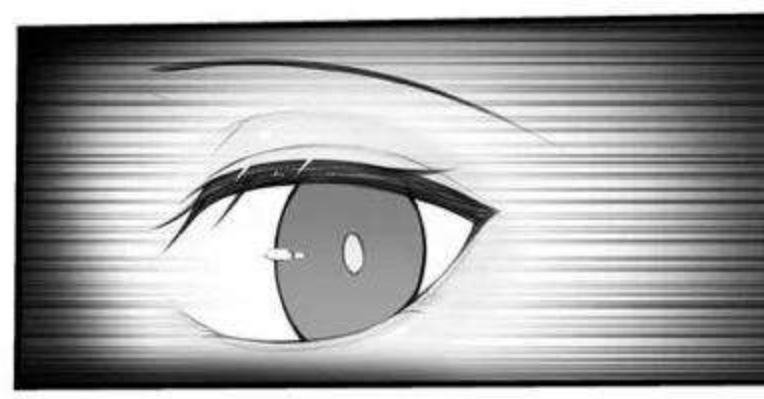
フー

フー

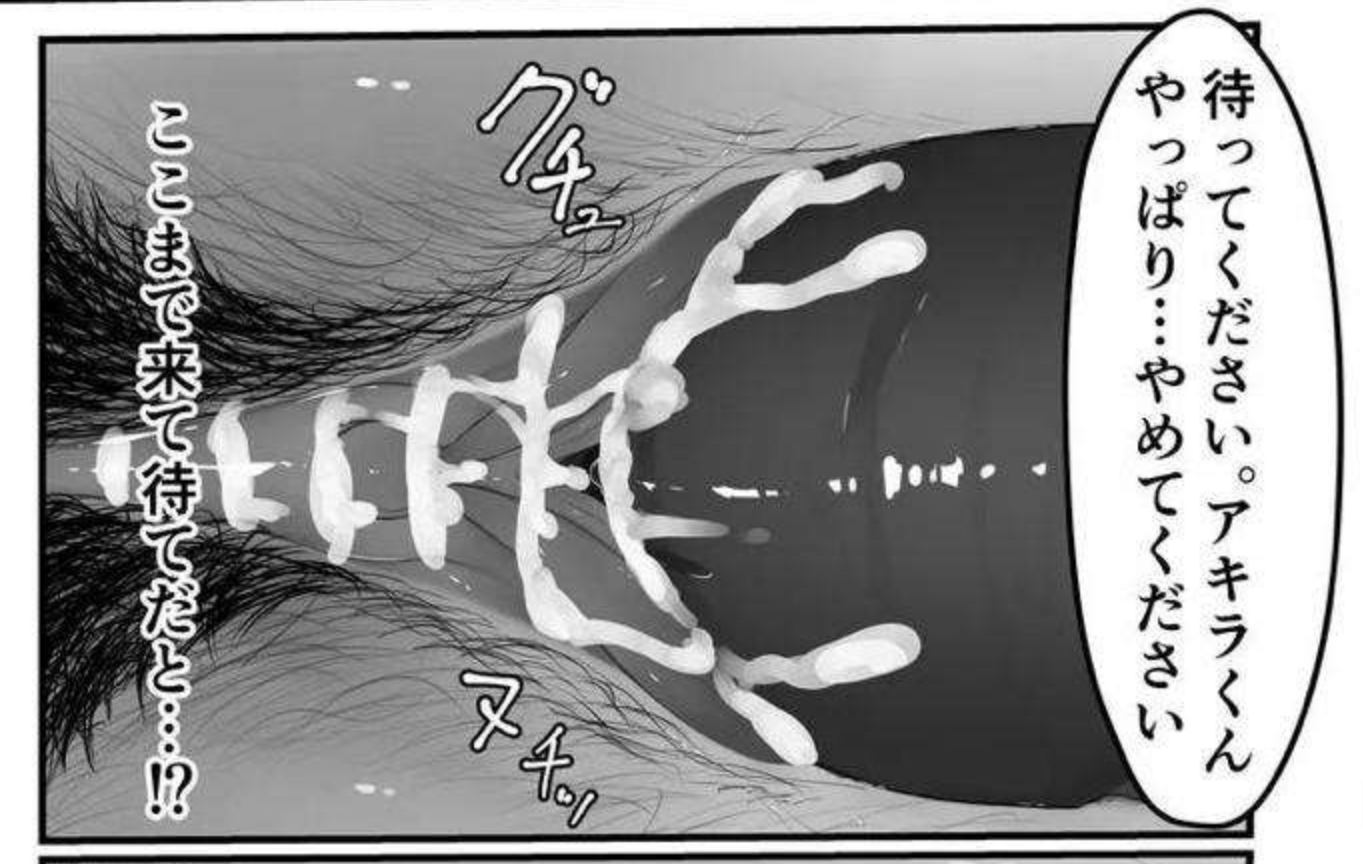
フー

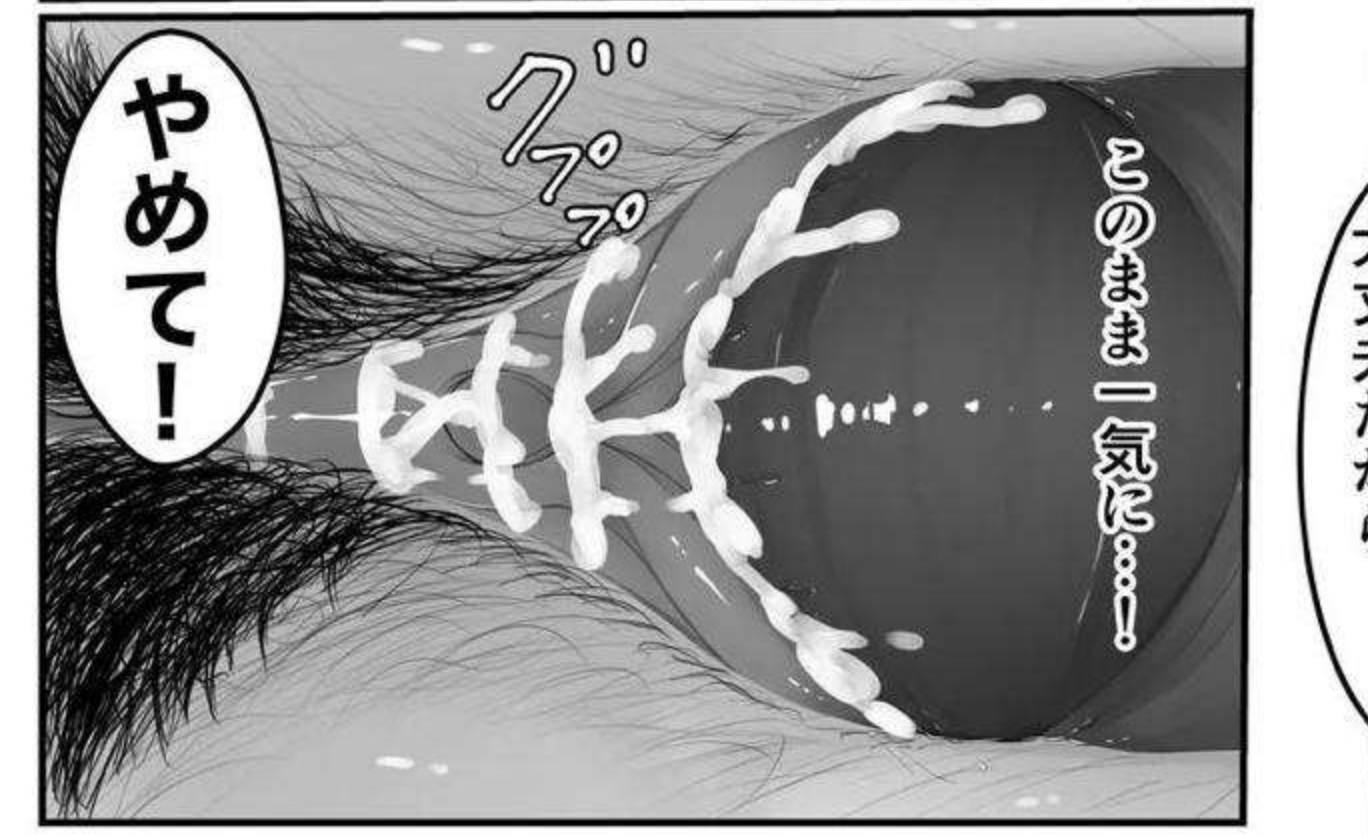
大丈夫…
僕に身を委ねて…
ごめん朱鳶さん…
優しく出来なそうだ…
君みたいな経験少なそうな子に
色々仕込むのが一番興奮する
あの…アキラくん…





初めは痛いかも知れないけど…
これだけ濡れてればすぐ気持ち良くなるよ…
クチュ
アキラくん…？
伸び放題の陰毛も
整えてあげるからね
力抜いて深呼吸して
大丈夫だから


待ってください。アキラくん
やっぱり…やめてください
グチュ
ヌチッ
ここまで来て待てだと…!?


このまま一気に…!
グプッ
やめて！

朱鳶…さん…？

待ってくれ！朱鳶さん！

ごめんなさい…今日はもう帰ります…

別に…アキラくんが嫌というわけでないんです…

行為に興味が無いわけでもありません…

アキラくん…
私とシたいだけですよね

待ってくれ！
誤解だ！

朝、慌ててましたよね

ガッ

部屋には香水の残り香が…

それに！
避妊具が箱で買ってありました！

ドッ

残りは五個…
頻繁に性行為を行う
証拠じゃないですか！

私…！

ポタ…

アキラくんのこと…！

ポロ…

ポロ…

ポタ…

私は…！

朱鳶さん…

怖かったんです…

ぎゅっ

私は…！

ずっと怖かった！

でも…
アキラくんなら…！

いいかなって…
思ってしまったんです！

怖いけど…

アキラくんの為なら！

でも…アキラくんも…
同じだった…

私は性欲に
溺れたくありません…

彼女さん…
大切にしてあげて下さい…

さようなら

朱鳶さん！彼女はいない！
信じて欲しい！

けど肉体関係が
ある女性はいる…
ごめん…

離れて…

まさか…朱鳶さんをこんなに…
傷つけるとは思ってなかった…

私の身体で性欲を
満たしたいだけでした…

僕は他の子と関係があるのも確かだけど…
朱鳶さんが大切の事も事実なんだ…
ああ…私は…
最低…
くちゅ
くちゅ
どうしてこんなに…
朱鳶さん…
ストロー。
何してるんだろ…私……
凄い濡れてるね…
触らないで…
もう…帰るのでっ…！
嫌…なんです…性欲に負けて……
発情した犬みたいに交尾して爛れた関係になるのは…

やめてよ…
ズリュ
あっ

嫌なら抵抗してよ…朱鳶さん…
あっ
ビクッ
あー
ビクッ
クチュ
クチュ
クチュ
ダメなのに…抗えない…アキラくん…

凄い汁だね
ぐぽ
性欲に負けたら…私は…

アキラくん…
ぐっ
やめて…ください…

あー
あー
あー
頭が…まっしろに…

ガクガク
ピタ…
え…？
はあ
はあ
アキラくん…？
はあ
ごめん…朱鳶さん。僕は最低だね…
ニヤ…
だけどね…抵抗しない朱鳶さんが悪いんだ…
僕はもう我慢しないよごめんね…
ニヤニヤ
レロオオ
やっ
やめて…汚い…から…
あっ
あっ
あっ
あああ
チュチュ
ズッ
ワチュ
ニュニュ
くちゅ

くりっくりっ

あっ本当に……汚いですから……！

あああ

嫌なら…殴ってでも止めてよ

ぎゅーー

ガガガ

んっあっあっんっ

汗もかきましたし…！お手洗いも…！あっ

あっんあっ

込み上げて来る…！さっきよりも鋭い感じ…！

ビクッ

んあっ

アキラくんっ

あ〜〜

あ〜〜

身体がアキラくんを受け入れちゃう…

ガガガ

快感が背骨を這いずり上がって来て脳が…痺れる…声が出ちゃう…！もう…ダメ……

イク……

くぱぁ

ピタ…

くぱぁ

あーー♡

ピクッ

ピクッ

ピクッ

あーー♡

凄いイキ顔だね

私そんなに酷い顔を…どうして…

フーー

フーー

イク寸前で止めてすまない

くちゅ

玩具を試してみようと思ったんだよ

ぐりぐり

ぐりぐり

ぷすぷすぷす

手や口じゃあ奥まで届かないからね

あっ♡あーー♡

朱鳶さん…どうしてオ○ニーしてるの？

くちゅくちゅ

くちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅくちゅ

んっ♡

んんんん

まったく…

もう嫌がる振りはやめたの？
さっきらからずっと
イキそうになってるよね

ぱぁ

ドロッ

どうして…
寸前でやめるんですか…

朱鳶さんが素直になってくれないからだよ
本当に嫌ならやめるよ…

……

じゃあ入れるね…

私の性器が弄ばれてる…
イク直前に何度も止められる…

快感の波が引き始めた瞬間に
ぐちゃぐちゃになぶられる

ビクッ
じゅる
あ～
あ～
イキたい
やめないで

気持ちいいのがずっと続く…
絶頂寸前で止められるのが…
癖になる…

痙攣とまらない…
下半身が私の物じゃ無いみたい…

あっ
やっぱだめ
あああああ
ぷるぷる
ビクッ
じゅぶっ
じゅぶっ
あっ
それダメェ

声を我慢しないと
寸止めされちゃうのに
耐えきれない…！

もう…楽になりたい…
アキラくんを受け入れたい…

性欲に負ける事は恥ずべき事
だと思ってたのに…

じ～
ンクッ
ンクッ
ンクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ

スーハー

凄い匂い…
意識が飛びそう…

あぁ

臭いのに…
もっと嗅ぎたい…

あぁ

あんなに嫌だったのに…
今は…こんなに…

アキラくん…
どうか…しましたか…

はぁ

はぁ

朱鳶さん…
もう帰っていいよ

えっ

帰って…？

ビクッ

アキラ…くん…？

もういいよ…
これじゃあ僕がレ○プしてる
見たいじゃないか…

ニチャ

また途中で…！
早イカせてくれなくてもいいから…
早く…続きを…

レ◯プ…？
私は…そんなっ…
アキラ…くん

さあ、どうする
朱鳶さん…！
…やキラくん
散々恥をかかされたんだ…
少しぐらい意地悪したって
バチは当たらないだろう…
フフ…
なんか…思ったより動揺してるな
少しやりすぎたか……？

アキラくん…違うんです…
そんな事させたかった訳じゃ…
アキラくんは酷い事しないって
分かって…
ドサッ
私は…そんな…
違うんです…
朱鳶さん…!?
どうしたんだい!?

……アキラくん
急に積極的に…
ペロ…
ペロ…
ペロ…
朱鳶さん…大丈夫かい…？
はあ
はあ
ツー
私…嫌じゃありません…好きにしてください
はあ
はあ
なんだか様子がおかしいけど好都合か
好きに使ってください…合意の上ですので…
大丈夫…か？緊張してるだけかな…
ここまで従順だと不安になるな…
女性器じゃない方でも…構いません…アキラくんなら…

正気…？色々試してみようか…
ぐにゅ
こっち使っていいのかい？
好きにしてください
ゴム付けてよ朱鳶さん…
しっかり空気抜いてね
わかりました
妙だな……嫌がる素振りも見せないなんて
…本当にいいのかな…処女にはキツイよな…
ア〇ルに入れて良いんだよね初めは結構痛いと思うけど…ローションとか…
痛みには慣れてますから！大丈夫です！
カッ
挿入してください…！早く…！
動くけど…大丈夫そうかな…？痛かったらすぐ言ってね…
ズグ
あ〜
あ〜！
あぁ
分かったよ…
くっ
スプ
プ
プ
プ
プ
！

駄目なんです…

あ

あ

あ

一方通行では…

あっ

想いが…
通じ合っていないと…

性行為をしては…

朱鳶さん…？

パン

パン

パン

パン

私の全部をあげます…ですから…

はあ

はあ

今だけ…

私を愛してください！

「愛してください」か…
ア○ル掘られながら言う
セリフじゃ無いよそれ…

僕は…地獄行きかな…

朱鳶さん…
大好きだよ…

快楽を知らないから…
そんな綺麗事が言えるんだ…
二度とそんな口聞けないように…

犯して！犯して！犯し尽くして！
快楽の沼に沈めてあげるよ！

くりくりくりくり

愛してるよ

ぐぐぐ

ぐぐぐ

ぐぐぐ

あっ
沈め
あぁあぁ
んぐっ
快楽に溺れる
あっ
君は気高き治安官じゃない
スチッ
スチッ
ばーん
ばーん
ただの女だ
ヌプ
ビュー
ブジュ〜

朱鳶さん…

ドロ

全部どうでも良くなるくらい
ぐちゃぐちゃに愛してあげるから

はぁ♥

はぁ♥

あぁ♥

おねだりしてよ
ビデオでやってたみたいにさ

はぁ♥

私の…負けですね…はぁ♥

アキラくんと…
セ〇クスがしたいです…

は〜♥

は〜♥

ガクッ

私に女の悦びを教えてください…

ピクッ

ピクピク

くぱぁ♥

ガクガク

男に産まれていたらと思った事がある――

生理は辛いし

胸は重く動き難いだけで大きくていい事なんて無かった

男社会では自分が女である事を

嫌という程思い知らされる

鍛錬をどれだけ重ねても

女の身体には限界がある――

鍛え抜かれた男性の
強靭な肉体には

敵わない

アキラくんの誘いに
抗えなかったのは

嫌気がさしていたからだ

敵わないと決めつけた
弱い自分に

女だからという戯言も
許してくれない

非常な現実に

だけど

今だけは素直に思える

女に産まれて良かった

あぁ♡

あ♡

あ♡

セッ○スしてる時だけは全部忘れられる

奥を突かれるたびに子宮が痙攣する…

セッ○スがこんなにも気持ち良かったなんて！

あっ

あっ

破滅的な快楽が脳を焦がす

ずっ

気持ちいい…

ずぷ

気持ちいい！

あぁ♥
幸せ…！
あぁ♥
あぁ♥
精液は飲むのが礼儀だよ
ビデオでもやってたよね
朱鳶さん口開けて
ヒュルルルル
アキラくん…
準備出来てます…
口で付けてよ
朱鳶さんならできるよね
僕、ゴム付けて
セ〇クスするの好きなんだ

勿論、ナマの方が気持ちいいけど

ギィ

これからするのは子作りが目的じゃない快楽の為のセ〇クスだ

特に完全無欠で高潔な治安官の朱鳶さんが…

はあ♡

はあ♡

快楽に負けて自分から股を開いてると思うと最高に興奮する…！

ヌチ♡

早く…入れて…ください…もっと…私を…愛して……

ぐちゅっ

朱鳶さん…愛してるよ…
あ♡あ♡パン♡パン♡
私も…愛して…ます
イクっ…
んっ♡んっ♡パン♡パン♡
待ってくださいっ…イッたばかりなのでっ…休憩を…！
あっ♡あっ♡パン♡パン♡
朱鳶さん…全部忘れさせてあげるから…
壊れてよ
ビグン
逃げないでよ朱鳶さん…！これが最後のゴムだからさ…！
んあっ♡
ガクガク
ビクッ♡
まって…もう入れないで…本当に壊れちゃう…！おかしくなっちゃう！
おかしくなったらどうなるのか僕に見せてよ

パン
パン
パン
パン
あっ
あっ
はげしっ
あっ
あっ
まってっ
あっ
トゥリン
もっと気持ち良くしてあげるよ

何個入るかな…
ヌチィ
ああ
ムニィ
だっだめぇ！

どう？あんなに長いものが…
朱鳶さんの綺麗なお腹に収まってる感覚は
ガク
あっ
ガクガク
ガクガク
抜いて…ください…

ああ
ああ
全部入ったね
ズチィチ

うん…
あとで一気に引きずり出してあげるね
プリュ
今はこっちに集中してよ

レロォー

あっ

イっちゃう…

あー

スリュリュ

プッ

アキラくんより…先に…

あんっ

ブルッ

バチュッ

ギシィ

ギシィ

んっ

くちっ

僕ももうすぐイキそうだからね

朱鳶さんのペースで動いていいよ

ズルッ

少し待ってください…一緒にイキたいです…

はあ

あー

はあ

はあ

わかったよ朱鳶さん

ブボッ
ソロ
ビュルルル～
ブボッ
ドクン
ドクン
ドクン
ブボッ
ドュリュー
マズイ…
くぱぁ～
ジュロ～
マズイ…！
ビキビキ
勃起が治らない！

全然治らない…！
とにか発散しないと…！
もっとゴム買っておけば…！

今、朱鳶さんに触られたら…
間違いなく妊娠させていてしまう…！

シコシコ
シコシコ
シコシコ
シコシコ

あ゛ー
あ゛ー

腰も痛いし、体力ももう残ってない…
だけどこの手は絶対に止めない！

絞り出すんだ…！
最後の一滴まで！

まだ出来ますよね…？
朱鳶さん!?待って…！もうゴムが…！!!
チュ
くちゅ
スリスリ
目の前であんなに激しいオ〇ニー見せられて…もう我慢の限界です…
朱鳶さん…!?話を聞いて！
あっ
アキラくん…？その…柔らかいですよ？早く勃起させてください…
あ〜
動いてれば勃起しますよね
ちゅ

朱鳶さん！落ち着いて！

ジボッ

ジボッ

あっ！勃ってきましたね！

ブニュッ

あ…射精する…

朱鳶さん！駄目だ！中に出すのは…！

パンパン

力が強過ぎて…身動きが…このままじゃ…！

ギリギリ外に出せた――

えっ…

あれ…？

どうして…？

危なかった――

待って朱鳶さん！本当にもう勃たないんだ！

ジュプッ

違う…！

違う…

ニュポッ

ほら…勃起しましたよ

まだこんなに……勃起するんだから

アキラくん…

違うよね…

いっぱいえっちしましょうね

こんなに…気持ちいいんだから

くっ

アキラくん……私とえっちするの嫌ですか…

はあ♡

はあ♡

君を妊娠させてしまう…

ねえ…アキラくん――

朱鳶さん…待ってくれ…

アキラくん…愛してます

嫌じゃないよね――

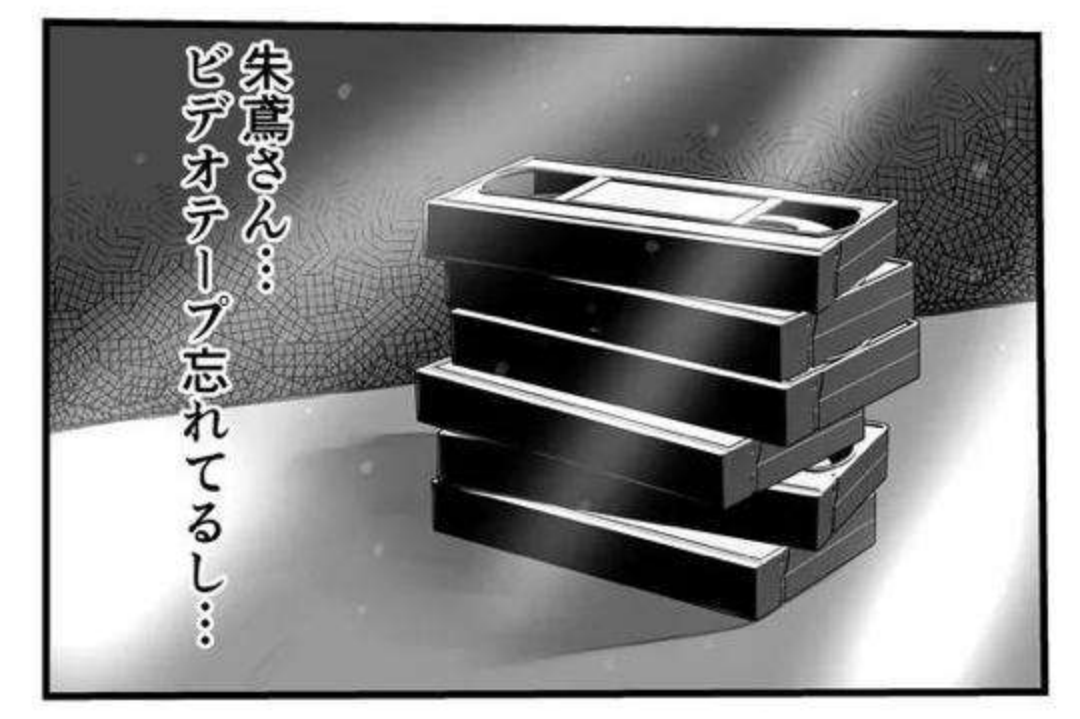
違う…私は違う…！違う違う違う違う違う違う違う違う違う違う違う違う違う違う違うちがうちがうちがう

あ
はあ
はあ
ブビュッ

ん…

朱鳶さん…？
何も言わずに帰るなんて…

痛っ！
あの後どれくらい……


朱鳶さん…
ビデオテープ忘れてるし…

あれ…？
朱鳶さんの連絡先が…
ブロックされてる…!!

…ただいま
ガチャ

最低です…
私は…